

平成18年度の企画展のご紹介

今年度も見どころたっぷりの様々な企画展を準備しております。(所蔵品展の紹介は4頁目です)

5月13日(土)~7月16日(日)

ベオグラード国立美術館所蔵フランス近代絵画展 印象派と20世紀の巨匠たち

ベオグラード国立美術館の主要コレクションには、バルビゾン派から印象派、そしてエコール・ド・パリにいたるフランス近代絵画作品が収蔵されています。特にルノワールの愛らしい肖像画や身近な人々をモデルにした30点以上の作品は、彼の抜群のデッサン力を感じさせる珠玉の作品群といえるものです。また、ルノワールの《水浴する女性》は1996年に強奪され、その後、手酷く痛めつけられた状態で発見されたもので、国立美術館の修復家により1年以上の期間をかけて完全に修復されました。現在、防弾ガラスで守られ、間近ではほとんど見る機会の少ない本作を今回見るすることができます。そのほか、モネの《ルーアン大聖堂》、ピサロの《テアトル・フランセ広場》、コロー、ロートレック、ゴッホ、ゴーギャン、マティスなど、フランス近代絵画を代表する画家の作品が数多く含まれています。今回の展覧会は、美術館建物の改修に伴う休館を機に、ベオグラード国立美術館の全面的な協力を得て公開されるものです。

新潟では初公開。
この機会をお見逃しなく！



左/クロード・モネ《ルーアン大聖堂》1892年
右/オーギュスト・ルノワール
《水浴する女性》1915年頃

ベオグラードはセルビア・モンテネグロの首都。セルビア・モンテネグロはかつてユーゴスラビア連邦共和国と名乗り、2003年2月に現在の名称になったばかりです。

7月22日(土)~9月3日(日)

佐久市立近代美術館所蔵名品展 近代から現代へ —はばたく日本画

明治以降、日本の絵画は西洋の影響を大きく受けて変化しました。「日本画」という名称が使われるようになったのも、明治半ばからです。横山大観、竹内栖鳳といった日本画草創期の大家たちがその革新を推し進めました。終戦直後、第二の転換期が日本画には訪れますが、平山郁夫、東山魁夷ら人気作家たちが登場して新たな歩みを進め、現在も様々な作品が生み出されています。豊かな日本画コレクションを誇る佐久市立近代美術館の所蔵品から、約70点の作品を選びすぐてご観いただけます。



左/竹久夢二
《夕涼み》制作年不詳
右/平山郁夫
《天山南路の夜》
1960年

風景・人物・そして身の回りの生き物など、身近なテーマによるバラエティーに富んだ作品の数々が並びます。
華やかな日本画の世界をお楽しみに！

9月9日(土)~11月5日(日)

ロマノフ王朝と近代日本 版画と写真でたどる日露交流

—ロシア国立図書館所蔵品より—

ロシアと日本の交流の歴史は、18世紀初め、カムチャツカ半島に漂着した大阪商人伝兵衛が、ピョートル大帝の命によりロシア初の日本語教師となった時から始まります。その後、大黒屋光太夫とラクスマン、高田屋嘉兵衛とリコルドらの友情と信頼の物語を経て、1855年には日露通好条約、1858年には日露修好通商条約が締結されました。この展覧会は、この時の日露修好から150周年を記念して開催されます。サンクトペテルブルクのロシア国立図書館の全面的な協力のもと、同館の膨大なコレクションから、日露交流を描いた報道写真やリトグラフ、そしてルポーク(民衆版画)など約300点が展示されます。



ソ連時代に封印されていたロマノフ家の写真やカール・ブッラの報道写真はもちろんのこと、歴しのジャポニスム系装丁本は特に見もの。「銀の時代」の耽美な世界へ、ともに旅してみませんか。

左/スイティン工房
《ルポーク「ロシアが日本と戦争に」》1904年
右/《ジョルジュ・ボルマン製菓のチョコレートの包装紙》
1910年代

11月11日(土)~2007年1月14日(日)

第2回 新潟の作家100人

新潟県ゆかりの作家100名の近作によって、新潟の美術の現況を紹介したいと思います。

万代島美術館が開館した2003年度に、県出身、県在住作家を対象にした展覧会「新潟の作家100人」を開催してから早くも3年が経ちます。好評だった第1回に続き、今回も、新たな美術の創造を目指し、現在制作に打ち込んでいる同時代の作家たちを取り上げます。われわれと同時代を生きる作家たちは何を感ず、何を思い、表現しようとしているのでしょうか。

ば・ん・びのあゆみ 2005-06

2005年7月2日(土)～9月4日(日)

9月10日(土)～10月23日(日)

地球を生きる子どもたち 一写真でみる150年

- 内容が濃かった。来てよかった。(20代男性)
- 子供たちの未来のために自分にできることは何かと考えさせられた。(30代女性)
- 戦争の恐怖の前で涙が止まらなかった。(30代女性)
- 日本の子どもたちの写真がもっとあると良かった。(30代女性)
- 以前より興味はあったが、実際の写真を前にすると言葉を失った。(40代男性)
- 内容、企画とも大変よかった。また若い人が熱心に見ているのも驚き!(60代男性)



京都国立近代美術館所蔵日本画名品展



- 年代別などにされていて非常に見やすくよかった。(10代女性)
- 解説が大きな字で内容もわかりやすく読みやすく工夫されていてとてもよかった。(40代女性)
- すばらしかったのでまたきます。(40代男性)
- 素晴らしかったです。日本画の良さ、精神性が特に。(60代女性)
- 人の声、足音が反響してうるさい。(70代男性)

7 2005
July

8 August

9 September

10 October

7/9(土), 7/23(土)

エレクトーンによる 子どもコンサート



閉館後のロビーで、気軽なコンサートはいかが。肩肘はらなくつるいだコンサートで、子どもたちは大人顔負けの素晴らしい演奏をノリノリで披露してくれました。

Pick
UP!

入館者30万人を達成



会期中に、2年前の7月に開館以来入館者が30万人を達成! 記念品を受け取った幸運なお客さまは、お母さんと一緒に来館した市内の小学生の方でした。

8/9(水)

9/19(月祝), 9/25(日)

実技講座「色紙に描こう!」



体験して初めてわかることも多いもの。人数限定の募集はすぐに定員に達し、関心の高さがうかがえました。丁寧な準備で和やかに指導してくださった講師は、榎谷一代さん(日本美術院院友)。美術館内での実技講座は初めての試みでした。

7/30(土), 8/6(土)

朗読会 「未来に伝える戦争と平和」



展覧会の中身の濃い内容が、切実な体験を語る朗読でさらに強く心に伝わったようです。朗読会に出品作品の映像と音楽をコラボレートするのは初めての試みでした。

8/6(土), 8/20(土)

親子で楽しむ写真教室



大きくしたプリントのでき具合にドキドキ。ちょっとしたことで写真の楽しみが広がることを、わかりやすく教えてくださったのは、上山益男さん(日本写真家協会会員、新潟県写真家協会副会長)。

8/7(日)

アーティスト・トーク



お話は、現在フリーで活躍する弓納持福夫さん(日本写真家協会会員、新潟県写真家協会会長)。長いキャリアを持つプロの鋭い視点に、自身の体験を交えるなど、さまざまな角度からの巧みな話にみな納得。

篠笛コンサート



日本画には和の音色を。展覧会吹く天女を描いた前田青邨の演奏は雰囲気にとびつたり。うはれてしまいました。演奏はに全国で活躍する篠笛奏者、

開館4年目を迎え、美術館がさらに利用しやすくなりました!

月曜
開館

企画展の会期中に、月1回の月曜開館日を設けました。月曜日がお休みの方、この日にどうぞ。

金曜
夜間延長

また、企画展会期中の金曜日は夜8時まで開館しています。夕食後、ゆったり気分が美術鑑賞はいかが。

- 土・日・祝日は通年で小・中学生は入館無料です。お子さんと一緒にお出かけください。
- 障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は入館無料です。受付でご提示ください。
- 館内には車椅子対応男女別トイレ、ベビーシート付トイレ、授乳室もご用意しています。
- 館内専用の車椅子3台、ベビーカー7台を貸し出しています。



10月29日(土)~12月11日(日)

ユートピアを探しに 想像力の彼方へ

- 展示の仕方がとても楽しくてよかったです。振り返って“わあっ!”と思えるもの、“ニヤリ”とできるものがありました。(20代女性)
- 面白かったです。良い意味で裏切られました(ポスターで先入感を持ってました)。(30代男性)
- ユートピアという概念でまとめるのは無理があります。無理やりくっつけた感じです。(50代男性)
- 大変充実した展覧会で新潟でこれだけのレベルの作品が見られることに感激しました。(50代女性)



12月23日(金)~2006年2月12日(日)

みんなのともだち「こどものとも」の絵本展



- とてもいい思い出になりました。(10代女性)
- 幅広い年代で楽しめるのはいいですね。(20代男性)
- 子供たちでにぎわう美術館もたのしくていいですね。(30代女性)
- 生の絵本の冊画を見て、作家の方が線の本一本一本にまで、心をこめて描いているのが伝わってくるようで、とても感動しました。(40代女性)
- たくさんの展示にびっくり、とても良かったです。満ち足りた気持ちで帰ります。(50代女性)

7 November

12 December

2006
1 January

2 February

10/8(土)

島田康寛氏 講演会



熱心な方々が早い時間から大勢集まりました。会場は後ろの席までいっぱい、スライドが見えにくい心配でしたが、京都国立近代美術館学芸課長の京都画壇の作家にまつわる興味深いお話し、皆十分満足されていました。

11/9(水)

オカリナコンサート



佐渡在住の地田脩二さんの演奏で、会場は同じビルの中の31階展望室。展覧会の余韻を感じつつ、新潟の街の夜景を見ながらという贅沢さ。優しく心に沁みいるオカリナの音色に、しばし日常の喧騒を忘れて心はユートピアに。

12/23(金・祝)

松井直氏 講演会



往復はがきによる事前の申し込みが必要でしたが、450人近くの親子連れが会場に集まり、大盛況でした。児童文学者で福音館書店相談役の松井直さんの知名度は抜群です。

9/24(土)

Pick UP!

11/5(土)

谷川渥氏 講演会



多くの著書で有名な谷川渥さん(國學院大学教授)をお招きした講演会。余り知られていない興味深い作品のスライドを交え、さまざまな温厚たっぴりの知的刺激満載のお話で、2時間近くがあっという間に過ぎました。

絵本読み聞かせ



ボランティアによる読み聞かせを、1月以降の土日祝日に行いました。たくさんのお子様と始める前は騒々しいくらいに賑わっているのですが、絵本を読み始めるとみな静かに聞き入っていました。

1/14(土)

ワークショップ



新潟大学の学生ボランティアによるしかけ絵本をつくるワークショップ。人数限定でしたが、早くから応募が殺到して大人気のため、急遽受け入れ人数を増やしました。子どもさんと一緒に夢中になっているお父さん、お母さんの姿も。

様々な普及活動も行っています

美術館では学校での団体観覧や職場研修などの受け入れも随時実施しております。今年からは大学生・大学院生対象の博物館実習も行う予定です。

今年も充実 美術鑑賞講座

毎月第3土曜日(4月と、翌年3月を除く)には、学芸員による美術鑑賞講座が開かれています。今年も様々なテーマを準備しております。聴講無料ですので、初めての方もどうぞお気軽にご参加ください。



土・日・祝日は 作品解説会

万代島美術館では、土・日・祝日の午後2時より展示室内で学芸員による作品解説会を行っています(同日に他のイベントがある場合を除く)。鑑賞のポイントや、作家・作品をめぐるエピソードなどをわかりやすくお話しします。

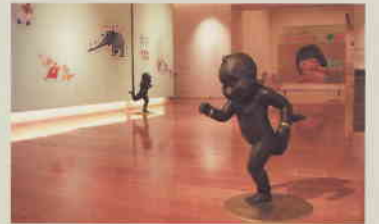
● 随時、団体観覧など事前の申し込みにも対応いたしております



所蔵品紹介 藪内 佐斗司《走る童子》 1996年 ブロンズ

数ある収蔵品の中でも抜群の人気を誇っているひとつがこの作品です。展示していないと、「どうして出していないの」と、アンケートに書かれてしまうほど。全身像4体と半身像2体が収蔵されていますが、組み合わせや展示方法は変幻自在です。時には壁を通り抜け、館内のあちこちを走り回っています。

作者の藪内佐斗司(1953年大阪市生まれ)は、東京芸術大学で彫刻を学び、古美術の保存と修復に携わりながら、伝統的な技術を習得しました。その優れた腕前は特に木彫による具象作品に発揮され、広く知られるようになりました。日本の伝統に根ざし、人体や動物をモチーフにした軽妙なユーモアあふれる作品は、たいへん人気を博しています。近年では、木彫以外にブロンズの作品も手がけ、公共的な空間への作品設置にも積極的にかかわるほか、母校の教授として後進の指導にも当たっています。



平成18年度の所蔵品展のご紹介

7人の新潟の洋画家たち

併設:アメリカ現代美術の愉しみ

4月1日(土)～5月7日(日)

新潟県で生まれた、または育った物故の洋画家7名の作品を展示します。安宅馬雄、小野末、佐藤哲三、竹谷富士雄、田中道久、富岡



惣一郎、三芳悌吉、7人の作家の軌跡をたどりながら代表作をまとめて紹介いたしますので、7つの小さな回顧展をご覧いただけます。併設で所蔵品より1960年代以降のアメリカ絵画も紹介いたします。

竹谷富士雄《モンマルトル・屋下がり》1978年

変わりゆく戦後の日本画

— 横山操・加山又造から千住博まで —

2007年1月20日(土)～3月18日(日)

第二次世界大戦が終結した1945年を境に、それまでの伝統が否定され、日本の社会・文化は大きく変化しました。日本画もその例外ではなく、「日本画滅亡論」なるものも飛び出し、危機的な状況に見舞われます。その結果、画面構成や画材の用い方など、様々な面で戦前の日本画とは大きく異なる方向へと進むことになりました。戦後の日本画界をリードした横山操、加山又造の作品から、中島千波や千住博ら現代作家の作品までを展示し、戦後日本画の流れを概観します。併せて、現在活躍中の県出身作家もご紹介します。



千住博《WATERFALL》2000年

「日本画って古めかしい」そんなイメージを持っていませんか? 横山操の描く東京タワーや、純白の絵具が降り落ちる千住博の滝の作品は、そんな先入観を打ち破ってくれるはずです。

新潟県立近代美術館の企画展



〒940-2083 新潟県長岡市宮岡町字居掛278-14
TEL: 0258-28-4111 (代表) <http://www.lalanel.gr.jp/kinbi/>

7/15(土)～9/10(日)

ウィーン美術アカデミー名品展 ヨーロッパ絵画の400年

18世紀以来、オーストリア美術教育の中心であるウィーン美術アカデミーは、オールドマスターから近現代に至るまでの名品を数多く所蔵しています。本展では同アカデミーの名品から、クラナハ、ルーベンス、レンブラントなど傑作84点を選び、ルネサンス期から19世紀末までのヨーロッパ絵画の流れを概観します。

9/30(土)～11/12(日)

新潟の仏像

県内各地の寺社等では、古代から近世にいたるまでの優れた仏像が大切に守られてきました。仏像研究を専門とする水野敬三郎館長の監修により、国指定重要文化財・県指定文化財を中心とする仏像の名品を一堂にご覧いただけます。人々の祈りを受けとめてきた私たち。震災からの復興を願っての特別開催です。

2/3(土)～3/21(水)

長野県信濃美術館所蔵 東山魁夷と信州の美術

新潟県立近代美術館では、平成11年度に群馬県、平成14年度には福島県の県立美術館と所蔵品の交換展を行い、近隣県との文化交流を進めています。今展では、長野県信濃美術館のコレクションから東山魁夷作品をはじめとする名品を精選して紹介いたします。

【開館時間】 午前9時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)
【休館日】 月曜(ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)。年末年始。臨時休館あり。

※いずれも展覧会名、会期は予定です。変更される場合があります。

新潟県立万代島美術館 The Niigata Bandaijima Art Museum

〒950-0078
新潟市万代島5-1(朱鷺メッセ内万代島ビル5F)

TEL:025-290-6655 FAX:025-249-7577
URL: <http://www.lalanel.gr.jp/banbi/>

HOW TO ACCESS

■ 開館日 午前10時～午後6時(観覧券発売は午後5時30分まで)

■ 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し翌日休館)、
展覧会準備期間、年末年始

■ 観覧料 (所蔵品展)
一 般/300円(240円) 大・高生/150円(120円)
中・小生/ 50円(40円)

※()内は20名様以上の団体料金です。障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料です。また土・日・祝日は小学生・中学生の観覧料が無料です。

■ 観覧料免除 新潟県内の小・中・高校、中等学校、特殊学校が、教育活動として美術館に団体引率をする場合、所定の用紙で事前に(見学の一週間前)申請をすることにより、観覧料が免除されます。図工・美術の授業、社会科見学、遠足などさまざまな形でご利用いただけます。



- 新潟駅から
- バス 約15分
(万代口バス乗場より「佐渡汽船」行(6番線)あるいは「新潟市観光循環バス」(13番線)に乗り、「朱鷺メッセ」下車)
 - タクシー 約8分
 - 徒歩 約25分
- 新潟空港から
- タクシー 約20分
 - 自動車(有料駐車場あり) 約20分
 - 新潟中央IC料金所から 約20分
 - 紫竹山ICから 約15分
- 信濃川ウォーターシャトル(水上バス)
- 新潟ふるさと村から 約50分
 - 新潟市歴史博物館から 約5分